

研究課題名	肝炎ウイルス陽性者の follow up 率と予後調査
研究の意義・目的	全国の併せて 44 施設の肝臓内科に 2014 年までに受診した HBs 抗原陽性で抗ウイルス治療を受けていない B 型肝炎キャリアおよび 2016 年までにインターフェロンや経口抗ウイルス剤によりウイルス排除に成功した C 型肝炎患者の診療情報（年齢、性別、継続受診の有無、継続受診期間、受診できない理由、肝がん合併の有無、他科疾患の有無など）を電子カルテより解析する。
研究を行う期間	承認後～ <u>2026年3月</u> まで
研究協力をお願いしたい方(対象者)	肝臓内科に 2014 年までに受診した HBs 抗原陽性で抗ウイルス治療を受けていない B 型肝炎キャリアおよび 2016 年までにインターフェロンや経口抗ウイルス剤によりウイルス排除に成功した C 型肝炎患者
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	共同研究機関に試料・情報を提供します。 国立国際医療研究センターが共同研究の代表として研究いたします。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT 画像】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関：国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センターに頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名 <b>研究代表者</b> ：国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝疾患研修室長 是永匡紹 <b>研究協力施設/研究協力者</b> ：北海道大学/小川浩司、札幌医科大/廣田健一、山形大学/上野義之、東北大学/井上淳、仙台厚生病院/近藤泰輝、群馬大学/戸島洋貴、高崎医療センター/柿崎暁 東海大学/立道昌幸、横浜市立大学/斉藤聡、武蔵野赤十字病院/板倉潤、埼玉医科大/持田智・ <u>内田義人</u> 、千葉大学/島井健一郎、船橋中央病院/横須賀収、信州大学/ <u>梅村武史</u> 、山梨大学/ <u>井上泰輔</u> 、新潟大学/寺井崇二、順天堂大学附属静岡病院/玄田拓哉、浜松医科大学病院/ <u>川田一仁</u> 、愛知医科大学/米田正人・ <u>伊藤清顕</u> 、名古屋大学/石上雅敏、藤田保健衛生大学/ <u>川部直人</u> 、名古屋市立大/井上貴子、岐阜大学/末次淳、富山県立中央病院/酒井明人、金沢大学/島上哲朗、 <u>福井済生会病院/橋本まさみ</u> 、大阪市立大学/ <u>榎本大</u> 、鳥取大学/ <u>岡野淳一</u> ・ <u>的野智光</u> 、島根大学/ <u>飛田博史</u> 、岡山大学/ <u>難波美穂子</u> 、 <u>済生会岡山病院/池田房雄</u> 、山口大学/日高勲・ <u>大野高嗣</u> 、下関医療センター/ <u>山下智省</u> ・ <u>加藤彰</u> 、愛媛大学/日浅陽一・ <u>徳本良一</u> 、香川県立中央病院/高口浩一、 <u>徳島大学/立木佐知子</u> 、久留米大学/井出達也、 <u>高知大/堀野美香</u> 、佐賀大学/ <u>高橋宏和</u> ・ <u>磯田広史</u> 、 <u>ロコモディカル研究所/江口有一朗</u> 、宮崎大学/永田賢治、大分大学/ <u>遠藤美月</u> ・ <u>荒木光江</u> 、 <u>熊本大学・熊本労災病院/瀬戸山博子</u>
試料・情報を管理する責任者	所属：国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 職名：肝疾患研修室長/第一肝疾患室医長 氏名：是永匡紹
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵内科 榎本大 電話番号：06-6645-2121（代表）